

●代表質問とは？

2人以上所属する“会派”の代表者が、毎年12月定例会と一般選挙後の最初の定例会で行います。（各会派の持ち時間は〔基礎時間30分＋（会派所属議員数－1）×5分〕と、その1.5倍の時間を合計し、5分単位で切り上げたものが各会派の持ち時間となります。）

●会派とは？

市議会の中で、主義、主張等を同じくする議員で構成された団体のこと。1人でも会派を作ることとはできますが、代表質問をすることはできません。



供用開始となった広丘西通線19号と西通線の接点付近

**問** 良の進捗と残りの事業化は。  
**答** 九里巾交差点改良800mは、将来予定幅30mで用地取得率は約50%。事業費は対前年比1.4倍となり、早期用地取得に向け長野国道事務所と連携し進めている。残り2.5kmについては、交差点改良事業を完了させ、拡幅事業が早期に事業化されるよう努力する。  
**問** 野村桔梗ヶ原土地地区画整理事業の進捗状況と完成時期は。また、減歩率も大きいため市の助成を考えるべきでは。  
**答** 平成27年1月に地権者説明会を開催し、計画面積13.4haで了承された。その後設立された「まちづくり協議会」に想定減歩率などが提示され、現在、組合設立準備会への移行に向け仮同意書取得を行っている。平成29年度の事業認可を目指す。完成は、事業着

手後5年から7年の予定。助成については前向きに進める。  
◆社会教育施設等の活用を  
**問** 小・中学校の授業でも利用したらどうか。  
**答** 来年度からのコミュニティ・スクールで利用したい。  
◆塩尻ブランドの構築は  
**問** ワイン特区に認定後の新規活用者の動きは。  
**答** 新規活用者はいない。塩尻ワイン大学受講生等の中に動きがある。期待したい。  
**市政同志会 2015**  
質問者 中原巳年男  
村田茂之・篠原敏宏  
持ち時間100分  
暮らしやすい塩尻市のために  
◆公共施設再編・再配置のねらい  
**問** 公共施設の再編・再配置について行政としての基本的な考え方は。  
**答** 公共施設及びインフラの多くは、都市化の進展や経済成長とともに集中的に整備されてきたが、今後、これらが

◆小・中一貫校の目指すもの  
**問** 小・中一貫校の定義はな  
  
移転が課題の櫛川支所

一斉に更新時期を迎え、その経費は膨大な財政負担となる。個別施設ごとに利用度、維持管理コスト、老朽化度など施設情報を整備し、統合や廃止等を検討する。  
**問** 統廃合の場合、地域や関係団体、利用者への説明はどのようにするのか。  
**答** 「公共施設等統合管理計画」を策定し、長期的な視点を持って、更新、統廃合、長寿命化などの対策を総合的に行っていく。長寿命化の推進、資産総量の適正化、資産の有効活用、三つの基本方針により必要なサービス水準を維持しつつ公共施設の総量を縮減するとともに、人口減少、厳しい財政状況等を踏まえ統廃合を判断すべき場合もある。

にか。  
**答** 小学校、中学校がそれぞれ目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成、それに基づきき行っ系統的な教育を言う。  
教職員と児童生徒が多様に関わる機会を増やすことで、小学校から中学校への接続円滑化を図り、いわゆる中一ギャップの解消をめざす。小学生の進学に対する不安を軽減することや、小学生とのふれあいを通じての中学生の暴力行為や不登校、いじめの解消も期待される。  
◆コミュニティ・スクールの目指すもの  
**問** コミュニティ・スクールと地域とのかわり。  
**答** 現在、各校では、信州型コミュニティスクールの仕組みができているため、学校運営委員会が中心となって学校支援ボランティア組織が一層充実するための協議を進めている。あわせて、コミュニティ・スクールについて理解を深めるため、保護者や学校運営委員、学校支援ボランティア、学校職員などの説明会を随時実施しており、今後も繰り返し説明会の実施を計画している。地域の教育力を生か